

Der Wind

(風)

新年おめでとうございます

2015年が皆様にとって、また
湘南日独協会にとって良い年でありますように
祈念いたします

★ ★ ★

ワイマール独日協会一行が11月17日～19日

来訪、多くの行事で友好をさらに深めました

湘南日独協会 会長 織田正雄



フォン・ヴェアテルン大使のご挨拶

湘南日独協会の創立式典への参加から数えて、ワイマール独日協会会員の来日は今回で5回目となり、両協会の親密度は上がるばかりです。

湘南日独協会も年とともに諸行事が増え、これに参加される会員が増えるばかりでなく、諸々の行事に責任をもって作業される役員も誠に充実し、今回のワイマールからの一行受け入れに際しては理事各位は自分の担当分野について100パーセントを遥かに超える素晴らしい働きで、歓迎行事は大成功を納めました。1秒の狂いも無い完璧なパフォーマンスであったと言えます。

歓迎準備は春先から始まり、ホテルの部屋割り、毎食のメニュー、訪問先の時間割り、お茶やお香、流鏝馬の手配、プログラムの詳細な打ち合わせ、交通手段としてのバスと江ノ電招待乗車券の手配等々、きわめて肌理細かい作業に多くの時間を費やされました。

わが協会の持つ合唱団アムゼルは素晴らしい演奏で歓迎会に色を添えてくれました。100名を超える歓迎会には駐日独逸大使ご夫妻もご出席くださり、出席者の多くが大使やワイマール、鎌倉、藤沢市長と楽しくお話が出来ました。(2頁に続く)

湘南日独協会の活動予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第25回

曲目：菩提樹、鱈等の名曲他

日時 1月18日(日) 15:00～16:30

会場 藤沢商工会館 507号会議室

会費 1,000円

■ 年次総会開催

日時 1月25日(日) 13:00～14:00

会場 江ノ電第2ビル7F(湘南アカデミア)

■ 1月例会 映画会

総会終了後同会場 14:15～16:15

西澤英男氏の解説による映画「エリザベト愛と哀しみの皇妃」(後半) 観賞 <バイエルンに生まれシシーの愛称で呼ばれ、オーストリア・ハンガリー帝国皇帝に嫁いだ美貌のエリザベトの物語>

会費 無料

■ Schwatzerei am Stammtisch 第6回

テーマ「外国人(Ausländer) その2」

—外国に住んでの外国人としての体験—

—外国人として日本に住む現実—

日時 1月27日(火) 15:00～17:00

会場 藤沢商工会館 506号会議室

会費 1,000円

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第26回

日時 2月15日(日) 15:00～16:30

会場 藤沢商工会館 ミーティングルーム2

会費 1,000円

(マークス由香里さんが特別参加されます)

■ 2月例会 「2014年協会活動報告」

オクトーバーフェスト、ワイマール一行歓迎会等DVD・CDを放映します

日時 2月22日(日) 13:00～15:00

会場 藤沢商工会館 504会議室(藤沢北口5分)

会費 500円

終了後懇親会：別会費(3,000円の予定)となりますが、会員相互の懇親を深めたいと思います

(4頁に続く)

新入会員

敬称略

宮川 新平

寺島 彩

山口 泰彦

3年前にワイマールでホームステイをした生徒の内2名は成長して今回来日されたホストファミリーと再会を楽しみました。

一昨年協会創立15周年を記念して、ワイマールを訪問、今回はワイマールからの訪問を受け、次はまた私たちがワイマールを訪問する番です。

ユネスコ世界遺産でありますワイマール市の市長は今回の鎌倉市長訪問に際し、政治・文化の両面で極めて類似した性格を持つ鎌倉市がユネスコ世界遺産に推薦される様応援したいと発言されました。

ワイマール市と鎌倉市の関係も踏まえて、これからワイマール独日協会と湘南日独協会はますます親密の度合いを高めていくことを切に念ずるものです。(了)

ワイマール一行歓迎会に出席された青山陽子さん(元鎌倉市文化推進課長で古池美慧さん等のワイマール・ホームステイをお世話をされた)と古池さんよりご寄稿がありました。

☆

今宵ひとたびのワイマール

～独日協会歓迎会に出席して～

青山 陽子

ワイマールの皆さんに間もなく再会できると胸を弾ませながら、藤沢駅を降り立ち見慣れた街並みを進むと、シンデレラ城のごとく輝く湘南クリスタルホテルが目に入った。会場でパウハウスさんをはじめワイマール独日協会の皆さんの懐かしいお姿を見つけた瞬間、あのワイマールの夏にタイムスリップした。

深く広がる美しい森と数々の歴史文化を物語る荘厳な建築物。街中では、カフェで市民が語り合う。初老の紳士から「鎌倉から来たのですか」と優しく話しかけられる。歴史と伝統の重みが伝わってくる街並みの中でゆったりと時が流れる。

気づけば歓迎会はヴェアテルン ドイツ大使、ヴォルフワイマール市長の祝辞へと続いていた。両閣下のスピーチは、ワイマールの正の遺産に加えて忘れてはならない負の遺産についても丹念に掘り下げられ、歴史を共通認識し二度と過った道に進んではならない、よりよき時代を自らが作っていくという強い意志を感じさせるものであった。

ワイマール訪問を企画したとき、ワイマールの誇るべき正の遺産を辿り、楽しい滞在にすることが、双方の思いに合うと考え、プーヘンワルト収容所を訪問地から外した自分を悔いた。

会場はパウハウスさんの鳴外の文学から引用したスピリチュアルなスピーチへ続いている。確かに私はワイマールの地でそうしたドイツの気風を味わった。2011年8月のことだ。そのとき参加した中高生たちは、たくましく成長して、この訪問を機にドイツ留学を経験する、国際社会を射程にした進路に進む、鎌倉の地域ボランティアに参加するなど、国際社会にさらに目を向けるとともに日本の状況や文化についてもあらためて深く考えるようになったと語る。

私たち公務員は、ルーティン業務に追われる中、時には立ち止まって、一人でも多くの市民をいかに幸福に出来るか、そして幸福とは何かを考え、職務に当たっている。しかし、現実にはすぐに効果の得られるものばかりではなく、熟考した結果が思う方向に進まない場合もある。そのような中で、生徒の皆さんから目に見える結果を頂けたことは望外の喜びである。

このたびの両市民の橋渡しにご尽力くださった湘南日独協会・ワイマール独日協会の皆様にあらためて感謝しつつ、ワイマール市民と夢の再会を果たした会場を後にした。



ワイマール市長と右より古池さん、青山さん、小林さん

古池 美慧

ワイマールの訪問から早いもので3年が経ちましたが、今回このような素晴らしい歓迎会にご招待いただき、湘南日独協会の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

3年前の訪問から帰ってきた後もホームステイ先のカオリンさんと文通やメールのやり取りをしていたり、ドイツへ一緒に行った友達とも会ったりしていました。いつかまたドイツに行って、お世話になった方々に会いに行こうと話していましたが、まさか日本で再会できるとは思っていなかったもので、天にも昇るような嬉しい気持ちでいっぱいになりました。会場では会員の皆様がとても気さくに話しかけてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。また駐日ドイツ大使とお話をする機会があり、貴重なお話をすることができて有意義でした。

3年前の訪問後、私は自国の文化を理解することの重要性について考えさせられました。そして、今回のワイマールの方々の来日から私たち一人ひとりがどのように外国人をおもてなしするかということを考えさせられました。

会員の方々がドイツ語の歌を歌っていらっしゃるのを拝見し、素敵なおもてなしだなと思って見ていました。2020年には東京オリンピックが開催される予定で、日本のおもてなしが注目されています。私自身も素敵なおもてなしができるように、また少しでもドイツと日本との架け橋になれるように努力していきたいと思います。



ワイマール独日協会の皆さんに同行（通訳）して

会員 荏林 麻美子



歓迎会での荏林さんとパウハウスさん

11月11日、関西空港に降り立ったワイマール独日協会の皆さんの旅は高野山での宿坊体験から始まり、京都、金沢、越後湯沢を経由して湘南の地に到着されました。この度の訪日旅行は「体験の旅」だったようです。

11月18日、19日の鎌倉でのプログラムも日本文化体験（香道、茶道、流鏑馬）を中心とした2日間となり、私は通訳として同行させていただきました。初めて出会う異文化圏の方々をお迎えするにあたっては、迎え入れる側のたぐさ準備と心遣いがあります。日本文化の紹介で香道、茶道、流鏑馬等のプレゼンテーションを担当された方々と事前に打合わせでお目にかかる機会があり、「出来るだけわかり分りやすく、楽しい体験を」と思いを込めて細やかな準備をされている様子を拝見し、内容と共に背景にあるこうした温かい思いが伝わるようにするのが当日の私の役割、そう感じました。体験し、現地の人と交流する意味がそこにあるのだと思います。

当日はワイマールの皆さんから沢山の質問がありました。香道では西洋キリスト教会での「香」との比較、流鏑馬では西洋のアーチェリーとの違いなど、異文化圏の視点からこそ湧き出てくる興味深い質問も色々あり、そこに新しい発見や新鮮な驚きがあるのだと思いました。「体験する旅」に並んで、「次世代へつないでいく」ことも今回の訪日のテーマ。

18日早朝の鎌倉市長表敬訪問では両市長のお話はエネルギー政策、街づくり、歴史的遺構との関わり方、世界遺産へと進んでいきましたが、お二人の視線は次世代に向けられていることが伝わってきました。

19日は西鎌倉小学校を訪問し、子供たちとの交流の時間を持つことができました。6年生の授業を見学した後、ワイマールのWolf（ヴォルフ）市長は子供たちに取り囲まれて質問のシャワーを浴びました：日本の好きな食べ物は？村上春樹は読みましたか？

人と人とが交流する喜びを感じる2日間を過ごさせていただきました。（了）



日独共演

19日は西鎌倉小学校を訪問子供達と親しく交流、授業も参観、報国寺（竹寺）を訪問し湘南を発った。

ワイマール独日協会一行の様子

11月17日JR 藤沢駅着、織田会長他が出迎え、宿泊ホテルへ案内、18時より居酒屋「宗平」で前夜祭。すっかり日本食と日本酒に馴染んだ一行は愉快地に大いに飲み食いそして語り合った。



18日は早朝9時に鎌倉市長訪問、その後浄智寺で、日本伝統文化の体験プログラム。香道の実演と香りを当てるゲームに興じ、2グループの中1グループの正解率は非常に高かった。



茶道の体験に続いてお弁当で昼食を終え、流鏑馬のDVDを使用しての説明を受け、境内に設えた会場で、馬の使用は出来ないので鏑矢を射る実演を見学。アーチェリーをする方がおり、弓矢を借用して実演に参加。



その後高德院へ移動。大仏見物後、高德院の特別なはからいで一般には非公開の茶室でお茶の点前と静かな日本庭園を存分に楽しみ、江ノ電提供のチケットで藤沢へ。



ドイツ大使夫妻を迎えての歓迎交流会は、110名参加の満席、アムゼルの演奏にはワイマールの仲間が飛び入り、その後はあちこちで素晴らしいハーモニーが響いた。

ドイツ大使主催「秋祭り」に参加して
会員 莊林 麻美子



ドイツ大使夫妻と

2014年11月24日、全国の日独協会から約100名の会員が参加したドイツ大使館の秋祭り、今回は色々な世代の会員の参加を主旨として開催されたとのこと。ドイツ大使は開催のご挨拶でもその主旨に触れられました。私は今回初めて参加しましたが、世代を超えた色々な方々とお話を通じて改めて感じたことは、ドイツとの関わり方が個人々々実に様々だということです。ですからお話を通じて自分の知らない沢山のドイツに出会うことができました。10人いれば10通りのドイツ経験・・・そして共感できる体験も沢山あります。時間はあっという間に過ぎましたが、印象深い午後を過ごすことができたことをとても嬉しく思いました。

☆

なお、「秋祭り」には湘南日独協会理事寺田雄介氏も若い会員として招待され、その代表として大使ご夫妻へ花束を贈呈をしました。



(1頁よりの続き) 行事予定

■ Schatzerei am Stammtisch 第7回

日時 2月24日(火) 15:00-17:00

会場 藤沢商工会館 506号会議室

会費 1,000円

■ 3月例会 講演会

「ドイツに渡った日本文化」

文学だけでなく、茶道・華道・歌舞伎等の伝統文化、アニメ等の現代文化、更には大学の日本学についてもお話頂く予定です

講師 慶応大学名誉教授文学博士 寺澤行忠氏

日時 3月22日(日) 14:00-15:30

会場 湘南アカデミア (江ノ電第二ビル 7F)

会費 1,000円

講演会終了後懇親会(別会費)を予定しています

12月 望年会

中国琴とドイツ菓子を楽しむ会



12月20日午後のひと時、中国琴の演奏とドイツのクリスマス菓子でゆっくりと過ごしました。

中国琴「箏」の演奏は理事の伊藤志津子氏、国際コンクールに入賞、香港等国内外での演奏活動をしています。中国琴の全般の解説の後、曲目は古典の「漁舟唱晚」から日本の「琵琶湖周航の歌」や「里の秋」まで、日本の琴とは異なる音色で会場は、実に異国情緒たっぷりの雰囲気、テーブルの上はドイツのクリスマス。

ドイツ菓子は「ほたるの小道」の林さんのドイツ菓子、シュトレンやクッキーも頂きながら、林さんのお話を聞き、年末のご挨拶をして散会しました。

☆

場所を変えての第2の望年会を「宗平」で岩崎名誉会長、ワイマール一行歓迎行事で大活躍をされた莊林麻美子氏、寺田理事も仕事先より駆け付け、お酒入りの望年会が開かれました。ワイマール日独協会一行を迎えての3日間の行事が大いに話題となりましたが、これからの湘南日独協会の活動についても話が弾み、さらに3次会へ向かわれた方もおられたようです。

ドイツ旅行のご案内

2015年全ドイツ・日独協会連合会出席旅行

5月14日(木)～23日(土) 10日間

費用: 320,000円(2名1室)

宿泊 ベルリン14日～17日

ライプツィヒ 18日

ドレスデン 19日～20日

バンベルク 21日

フランクフルト発22日

日独協会との食事会: ベルリン、ライプツィヒ、
ドレスデン、バンベルク

オペラ: ドン・ジョバンニ、魔弾の射手が可能です
お問合せ先: 東日観光(株) 阿部 仁

TEL: 03-5148-1785

編集後記

○ワイマール日独協会パウハウス会長より2泊3日のおもてなしについて感謝のメールが届いています。紙面上ご紹介出来ないのは残念ですが、次の湘南からの訪問については是非おもてなしのお返しをしたいとのことです。次回の訪問が楽しみです!!

○1月25日の総会には是非ご出席ください。湘南日独協会の今後は皆さんで語りましょう。(大久保)